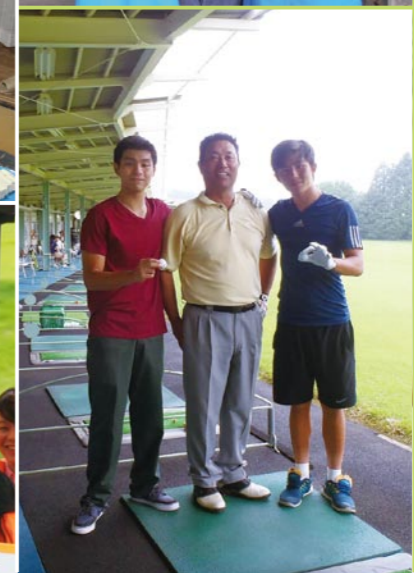




学校交流

ホームステイ



多古町に
マレーシアから修学旅行生が
やってきた!!

ホームステイ

学校交流

マレーシア修学旅行団
学校名「SMK SERI HARTAMAS」
男子13名 女子12名 引率教員3名 計28名

多古町滞在スケジュール

日付	時間	内容
6月2日 (火)	15:00	多古町到着 ホストファミリー対面式・歓迎式
	15:30	【ファミリー毎の行動】道の駅さつば舟、高校での弓道見学、小学校見学、野菜の収穫体験、夕食の買い物 ほか
6月3日 (水)	11:00	【ファミリー毎の行動】日本寺参拝、太陽光発電施設見学、フラワーアレンジに挑戦、房総のむら見学、習字体験、香取神宮参拝、ゴルフに挑戦、成田空港見学 ほか
	13:30	多古高校着 【歓迎式典】各校生徒代表あいさつ、学校間・生徒間記念品の交換、SMK SERI HARTAMAS 校生徒によるマレーシア伝統ダンス披露
	17:00	【体験交流】しおり作り、折り紙、けん玉、剣道見学・体験
		多古高校、多古町発

多古高生
体験交流



椎名くるみさん(右)
河田七海さん(左)

「海外の学生と交流したのは今回が初めてでした。言葉の壁から、自分の言いたいことを伝えたいのに伝えられないもどかしさが最初はありました。徐々にジェスチャーでどうにかコミュニケーションができるようになっていきましたが、これからはちゃんと言葉で会話ができるように英語を頑張ろうと思えました。またこのような機会があればぜひ参加したいと思います」

親愛なるホストファミリーの皆様と過ごした限られた時間の中で、新しい友達ができ、日本の文化や礼儀をはじめたくさんのお話を学び、とても楽しい時間を過ごすことができました。

お世話になった1日が、私たちにとってはたったの1時間のように感じられました。

出会いには必ず別れがあります。ホストファミリーの皆様への優しさにありがとうございます。今までにない体験をさせてくれてありがとうございます。私たちが家族の一員のように接してくれてありがとうございます。

さよならは永遠のように思われます。送別式は終わりのように思われます。しかし、私たちの心に刻まれた思い出の中に皆様はいつもいます。生涯忘れたいことはありません。

本当にありがとうございました。そして、また会いましょう。

「心からありがとう」



教育分野にとどまらず、経済や医療、観光などのあらゆる分野において世界で活躍する人材が求められる中で、千葉県においても、国際的な視野を持った人材育成および訪日教育旅行(修学旅行)による観光客の誘致を進めるため、県内の公立高校との交流や、ホームステイの受け入れが積極的に行われています。

6月2日・3日の2日間、マレーシアから高一貫校の修学旅行生25名と校長ら教員3名が多古町を訪れ、地元10家庭でのホームステイや多古高校を訪問し、ホストファミリーや生徒たちと交流を深めました。